

一、理事カ必要ト認メタルトキ

二、監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ

三、社員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第三十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日日前ニ會議ノ目的タル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ社員ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第三十三條 總會ハ總社員何分ノ一以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス

第三十四條 總會ノ決議ハ出席シタル社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ定款ノ變更及解散ノ決議ハ總社員ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

代理人又ハ書面ヲ以テ表決權ヲ行フ者ハ之ヲ出席者ト看做ス

第三十五條 總會ノ議長ハ第三十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外專務理事之ニ當ル專務理事事故アルトキハ第二十五條第二項ノ規定ニ依ル理事之ニ當ル

第三十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ二人以上ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

第三十六條 總會ノ決議録ハ議長之ヲ作り決議事項ノ外會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ署名スルコトヲ要ス

第三十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第六章 解散

第三十八條 本倉庫解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル

第三十九條 清算ニ依リ殘餘財産ヲ生シタルトキハ社員ノ持分ニ應シ之ヲ分配ス但シ第十九條ノ規定ニ依リ償却ヲ終リタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

第四十條 本倉庫設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

- 理事 何 某
- 理事 何 某
- 理事 何 某
- 監事 何 某
- 監事 何 某
- 監事 何 某

産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件

産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地ヲ左ノ通指定ス

- 北海道廳 札幌區 小樽區 函館區 旭川區 室蘭町

〔大正六年十二月四日 農商務省告示第三四六號〕



東京府	品川町	登川町	内藤新宿町	淀橋町	澁谷町
東京府	南千住町	千住町	能戸町		
京都府	伏見町				
大阪府	岸和田町				
神奈川縣	小田原町				
兵庫縣	西宮町	明石町			
埼玉縣	川越町	熊谷町	浦和町		
群馬縣	桐生町				
千葉縣	千葉町	本銚子町			
栃木縣	栃木町	足利町			
三重縣	桑名町				
愛知縣	一宮町				
滋賀縣	彦根町				
岐阜縣	大垣町				
長野縣	上田町				
福島縣	郡山町				

山形縣	鶴岡町	酒田町			
秋田縣	能代港町				
鳥取縣	米子町				
岡山縣	玉島町				
山口縣	防府町	山口町			
和歌山縣	新宮町				
福岡縣	飯塚町				
大分縣	別府町	臼杵町			
宮崎縣	宮崎町	都城町			
沖繩縣	那覇區	首里區			

### 年賦金及金利算出方法

#### 一、年賦償還

年賦償還トハ或ル年限内元金ノ一部ト利息トヲ合シ毎年均一ノ定額ヲ以テ償還スルノ方法ニシテ資本ノ回收ニ長年  
 月ヲ要シ而モ一時ニ多額ヲ要スル事業即チ耕作地ノ購買土地ノ開墾桑園果樹園ノ創設家屋ノ建設工場ノ設備、器具  
 機械ノ購入等ノ資金供給ハ此方法ニ據ルラ便トス年賦償還ハ金融上ノ變調緩和ニシテ借受者ニ於テ便ナルノミナラ



ス貸付業者ニアリテモ極メテ其業務ノ經營ヲ容易ナラシムヘシ年賦償還方法ノ算式ハ左ノ如シ

$$\text{式} \quad \frac{\text{元金} \times \text{年利率} \times (1 + \text{年利率})^{\text{返済年数}}}{(1 + \text{年利率}) - 1} = \text{年賦金}$$

備考 返済年数ヲ括弧ノ右肩ニ記載セルハ括弧内ノ和ヲ返済年数丈ケ自乗スルノ意ナリ

例題

元金壹千圓ヲ年八分ノ利息ニテ貸付シ三ケ年賦コテ償還セシメトス年賦金額何程ナリヤ

$$\text{式} \quad \frac{1,000,000 \times \frac{8}{100} \times \left(1 + \frac{8}{100}\right)^3}{\left(1 + \frac{8}{100}\right) - 1} = 388,033$$

$$\text{計算} \quad 1,000,000 \times 0.08 \times 1.08 \times (1.08 \times 1.08) + (180 \times 1.08 \times 1.08 - 1) = 388,033$$

年賦償還方法ノ運用

六ケ月毎ニ利息ヲ仕拂フヘキ計算ニシテ年賦金ヲ六ケ月毎ニ償還スルノ方法ニ據ルモノ則チ六ケ月ヲ以テ年賦一期間トストキハ年利率ヲ二分シテ六ケ月分ノ利率ヲ以テ年賦利率トスヘシ

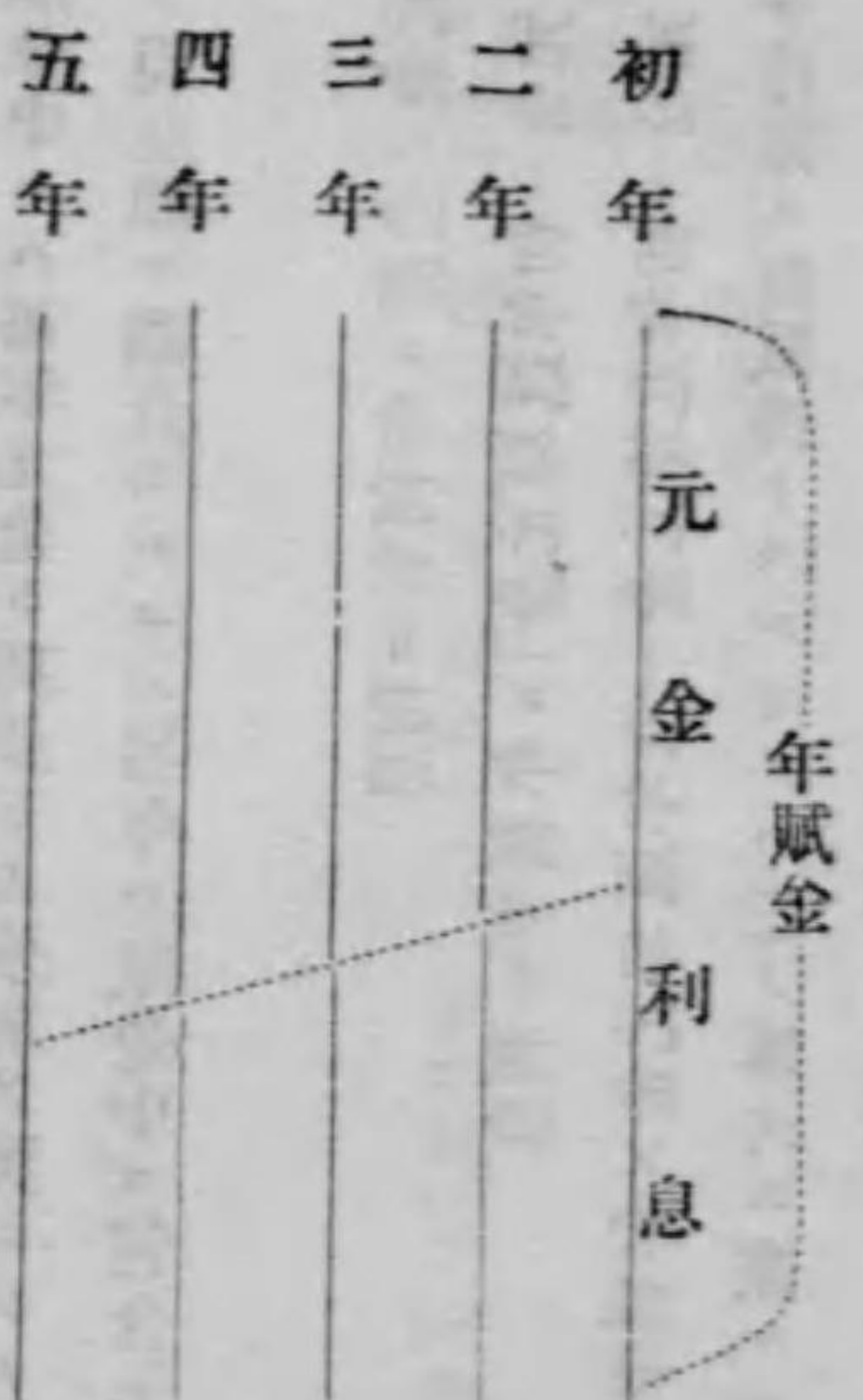
一ケ年一回ニ支拂フヘキ年賦金ヲ養蠶後及稻收穫ノ二期ニ分チ六ケ月毎ニ割賦拂ノ方法ヲ採ルモノハ一ケ年賦ニ對シ更ニ左ノ計算ニヨリテ割賦拂ノ額ヲ定ムヘシ

$$\frac{\text{年賦金}}{1 + 1 + \text{年利率}} = \text{六ケ月毎ノ割賦額}$$

年賦償還方法ニヨリ貸借ノ契約チナシタル時期カ年賦起算期トシテ不便ナルトキハ適當ナル年賦起算期ノ到着スル迄ハ元金ニ對スル利子ノミチ支拂ハシムヘシ此ノ期間ヲ据置期間ト云フ 假令ハ本年六月借入チナシ來年一月ヲ以テ年賦起算点トシ第一回年賦金ヲ來年十二月ニ支拂ハムトスレハ借入チナシタル六月ヨリ其年十二月迄ヲ据置期間トシ元金ニ對スル利子ノミチ支拂ハシムルナリ

年賦償還ト損益勘定

年賦金中ニハ元金ノ現在額全部ニ對スル利息ト元金ノ一部トヲ包含セルモノニシテ其年賦各年ニ於テ年賦金中ニ包含セル利息ト元金トノ割合ヲ圖ニ示セハ左ノ如シ





右ノ如ク年賦金中ニハ毎年元金ト利息トノ分量ヲ異ニシテ包含セルヲ以テ其利息ヲ損益勘定ニ組込ミ及年度末ニ於ケル貸付金ノ現在額ヲ調査スルニハ毎年々賦金中ニ包含セル元金ト利息トノ分量ヲ明ニセサルヘカラス其算式左ノ如シ

- 初年 元金ノ全部×年利率=利息 年賦金-利息=包含セル元金
  - 二年 (元金-初年返却元金)×年利率=利息 年賦金-利息=包含セル元金
  - 三年 (元金-初年返却元金-次年返却元金×年利率=利息 年賦金-利息=包含セル元金
- 年賦金ヲ六ヶ月毎ニ割賦拂トスルモノハ左ノ算式ニ據ルヘシ

$$\text{初年 (割賦金} \times 2 + \text{割賦金} \times \frac{\text{年利率}}{2}) - \text{元金} \times \text{年利率} = \text{包含セル元金}$$

$$\text{割賦金} \times 2 - \text{包含セル元金} = \text{利息}$$

以下前例ニヨリ參照スヘシ

### 二、定期貯金

貸付金ノ放出ハ金融ヲ潤澤ナラシムルヲ以テ其反應ハ奢侈ノ増加ニアリ若シ之レカ弊ヲ矯ムルニアラサレハ良藥變シテ毒トナルノ類ノミ故ニ勸メテ遊金ノ吸收ヲ圖ルヲ要ス定期貯金ハ一ツノ契約ニヨリ貯金ヲ強制的ニ實行セシムルニ適シ自然節約ヲ守ラシムルニ至ルヘシ産業組合カ貸付者ニ對シ定期貯金契約ヲナサシムルカ如キハ必要ナル手段ト云フヘキナリ定期貯金ノ計算方ハ左ノ如シ

例 毎月壹圓宛五ケ年間貯金ス利息ハ年五分ニシテ十二月末日元金ニ組込ムモノトス

但シ預入レノ當月ハ利息ヲ附セサルモノトス

78=壹月ヨリ十二月迄ノ月數累計 12=預入レノ當月利息ヲ附セサル月數累計

78-12=66=利息ヲ附スヘキケ年ノ月數累計

$$1,000 \times \frac{5}{100} + 12 \times 66 + 12,000 = 12,275 \quad \text{初年度末年利合計}$$

$$12,275 \times 1 \frac{5}{100} \times 1 \frac{5}{100} \times 1 \frac{5}{100} \times 1 \frac{5}{100} \times 1 \frac{5}{100} = \text{初年}$$

$$12,275 \times 1 \frac{5}{100} \times 1 \frac{5}{100} \times 1 \frac{5}{100} \times 1 \frac{5}{100} = \text{第二年}$$

$$12,275 \times 1 \frac{5}{100} \times 1 \frac{5}{100} = \text{第三年}$$

$$12,275 \times 1 \frac{5}{100} = \text{第四年}$$

$$12,275 = \text{第五年}$$

$$(\text{初年}) + (\text{第二年}) + (\text{第三年}) + (\text{第四年}) + (\text{第五年}) = \text{五年後ノ年利合計}$$

### 三、年賦金表及定期貯金表

以上示シタル算式ノ内年賦金及年賦割賦拂並ニ定期貯金ヲ表ニ示セハ左ノ如シ



甲、年賦金表 (年一回拂分)

金賦年ル対=厘五分八年率利				金賦年ル対=分八年率利							
年次	元	金	償還元金	利息	年賦金	年次	元	金	償還元金	利息	年賦金
初年	1,000,000	000	38,000	8,000	88,000	初年	1,000,000	000	31,933	8,000	80,933
二年	961,000	000	37,000	8,000	79,000	二年	961,000	000	31,933	8,000	79,933
三年	922,000	000	36,000	8,000	78,000	三年	922,000	000	31,933	8,000	78,933
計	2,883,000	000	142,000	24,000	266,000	計	2,883,000	000	142,000	24,000	266,000
備考	三年目利息ハ(元、七五)ノ處四捨五入ノ結果初年以來一厘支拂超過ニ付利息ノ内一厘減シタリ					備考	四年目元利合計方年賦金ヨリ八厘多キハ初年以來四捨五入ノ結果利息ノ仕拂不足ニ付三厘増シタリ				
年次	元	金 <td>償還元金</td> <td>利息</td> <td>年賦金</td> <td>年次</td> <td>元</td> <td>金 <td>償還元金</td> <td>利息</td> <td>年賦金</td> </td>	償還元金	利息	年賦金	年次	元	金 <td>償還元金</td> <td>利息</td> <td>年賦金</td>	償還元金	利息	年賦金
初年	1,000,000	000	35,000	8,000	83,000	初年	1,000,000	000	33,000	8,000	81,000
二年	961,000	000	34,000	8,000	82,000	二年	961,000	000	32,000	8,000	80,000
三年	922,000	000	33,000	8,000	81,000	三年	922,000	000	31,000	8,000	79,000
四年	883,000	000	32,000	8,000	80,000	四年	883,000	000	30,000	8,000	78,000
計	3,766,000	000	134,000	32,000	266,000	計	3,766,000	000	134,000	32,000	266,000
備考	四年目利息ハ(元、九七)ノ處初年以來四捨五入ノ結果一厘支拂超過ニ付一厘ヲ減シタリ					備考	五年目利息ハ(元、八八)ノ處初年以來四捨五入ノ結果賦金仕拂不足ニ付増シタリ				

金賦年ル対=厘五分九年率利				金賦年ル対=分九年率利							
年次	元	金	償還元金	利息	年賦金	年次	元	金	償還元金	利息	年賦金
初年	1,000,000	000	39,000	9,000	98,000	初年	1,000,000	000	38,000	9,000	97,000
二年	961,000	000	38,000	9,000	97,000	二年	961,000	000	37,000	9,000	96,000
三年	922,000	000	37,000	9,000	96,000	三年	922,000	000	36,000	9,000	95,000
計	2,883,000	000	144,000	27,000	286,000	計	2,883,000	000	144,000	27,000	286,000
備考	五年目利息ハ(元、三三)ノ處初年以來四捨五入ノ結果一厘支拂超過ニ付一厘ヲ減シタリ					備考	四年目利息ハ(元、四六)ノ處初年以來四捨五入ノ結果一厘支拂超過ニ付一厘ヲ減シタリ				
年次	元 <td>金 <td>償還元金</td> <td>利息</td> <td>年賦金</td> <td>年次</td> <td>元 <td>金 <td>償還元金</td> <td>利息</td> <td>年賦金</td> </td></td></td>	金 <td>償還元金</td> <td>利息</td> <td>年賦金</td> <td>年次</td> <td>元 <td>金 <td>償還元金</td> <td>利息</td> <td>年賦金</td> </td></td>	償還元金	利息	年賦金	年次	元 <td>金 <td>償還元金</td> <td>利息</td> <td>年賦金</td> </td>	金 <td>償還元金</td> <td>利息</td> <td>年賦金</td>	償還元金	利息	年賦金
初年	1,000,000	000	36,000	9,000	95,000	初年	1,000,000	000	35,000	9,000	94,000
二年	961,000	000	35,000	9,000	94,000	二年	961,000	000	34,000	9,000	93,000
三年	922,000	000	34,000	9,000	93,000	三年	922,000	000	33,000	9,000	92,000
四年	883,000	000	33,000	9,000	92,000	四年	883,000	000	32,000	9,000	91,000
計	3,766,000	000	138,000	36,000	286,000	計	3,766,000	000	138,000	36,000	286,000
備考	五年目利息ハ(元、三三)ノ處初年以來四捨五入ノ結果一厘支拂超過ニ付一厘ヲ減シタリ					備考	五年目利息ハ(元、三三)ノ處初年以來四捨五入ノ結果一厘支拂超過ニ付一厘ヲ減シタリ				



金賦年ルス對ニ割壹年率利

年次	元	金	償還元金	利息	年賦金
初年	1,000,000		331,155	100,000	469,155
二年	697,645		333,336	69,769	469,155
三年	355,559		355,559	35,556	469,155
計			1,000,000	205,325	1,205,325
備考	四年目利子ハ(二八、六六九)ノ處初年ヨリ四捨五入ノ結果壹厘支拂超過ニ付壹厘ヲ減シタリ				
初年	1,000,000		335,471	100,000	469,155
二年	744,329		337,068	74,433	469,155
三年	397,522		350,700	46,822	469,155
計			1,000,000	221,255	1,221,255
備考	五年目利子ハ(三三、九九三)ノ處初年以來四捨五入ノ結果三厘支拂超過ニ付三厘ヲ減シタリ				
初年	1,000,000		338,777	100,000	469,155
二年	636,323		340,177	63,636	469,155
三年	289,833		354,244	38,411	469,155
計			1,000,000	202,047	1,202,047

乙、年賦割賦拂表

〔利息ヲ十二月支拂フヘキ計算ニ基キタル年賦金ヲ六ヶ月毎ニ支拂フ爲メ二分シタルモノ〕

金賦年ルス對ニ分八年率利

年次	元	金	償還元金	利息	年賦金
初年	1,000,000		338,000	100,000	469,155
二年	691,967		339,676	69,197	469,155
三年	359,291		359,291	35,929	469,155
計			1,000,000	205,126	1,205,126
初年	1,000,000		332,910	100,000	469,155
二年	787,080		334,640	78,708	469,155
三年	358,406		358,406	35,841	469,155
計			1,000,000	214,449	1,214,449
初年	1,000,000		333,288	100,000	469,155
二年	779,733		335,033	77,973	469,155
三年	384,700		359,338	38,470	469,155
計			1,000,000	215,791	1,215,791
初年	1,000,000		336,648	100,000	469,155
二年	681,334		338,334	68,133	469,155
三年	348,133		359,667	34,813	469,155
計			1,000,000	202,596	1,202,596
初年	1,000,000		337,703	100,000	469,155
二年	673,997		339,497	67,399	469,155
三年	341,000		359,997	34,100	469,155
計			1,000,000	201,396	1,201,396



金賦年半ル対ニ厘五分九年率利					金賦年半ル対ニ分九年率利				
年次	元	金	償還元金	利息	年次	元	金	償還元金	利息
初年	1,000,000	000,000	350,000	85,000	初年	1,000,000	000,000	350,000	85,000
二年	690,000	000,000	320,000	86,000	二年	690,000	000,000	320,000	86,000
三年	500,000	000,000	280,000	87,000	三年	500,000	000,000	280,000	87,000
計	1,000,000	000,000	1,000,000	258,000	計	1,000,000	000,000	1,000,000	258,000
半年賦金	1,950,000				半年賦金	1,950,000			

金賦年半ル対ニ割壹年率利				
年次	元	金	償還元金	利息
初年	1,000,000	000,000	350,000	85,000
二年	690,000	000,000	320,000	86,000
三年	500,000	000,000	280,000	87,000
計	1,000,000	000,000	1,000,000	258,000
半年賦金	1,950,000			

年次	元	金	償還元金	利息
初年	1,000,000	000,000	350,000	85,000
二年	740,000	000,000	320,000	86,000
三年	550,000	000,000	280,000	87,000
四年	400,000	000,000	240,000	88,000
五年	290,000	000,000	200,000	89,000
計	1,000,000	000,000	1,000,000	439,000
半年賦金	1,950,000			



丙、定期貯金

毎月金壹圓宛ヲ貯金スルモノ、例

年 數	利率	年五分四厘	年六分	年六分六厘	年七分二厘	年七分八厘
初年		一二、二九七	一二、三〇〇	一二、三六三	一二、三九六	一二、二二九
二年		二四、二五八	二五、三三八	二五、五四二	二五、六八五	二五、八二七
三年		三七、九一九	三九、一五八	三九、五九一	三九、九三一	四〇、二七〇
四年		五二、三一八	五三、八〇七	五四、五六七	五五、二〇三	五五、八四〇
五年		六七、四九五	六九、三三五	七〇、五三一	七一、五七五	七二、六二四
六年		八三、四九二	八五、七九五	八七、五四九	八九、一二六	九〇、七一七
七年		一〇〇、三五三	一〇三、二四三	一〇五、六九〇	一〇七、九四一	一一〇、二二一
八年		一一八、一二四	一二一、七三八	一二五、〇二八	一二八、一一一	一三一、二四六
九年		一三六、八五五	一四一、三四三	一四五、六四二	一四九、七三三	一五三、九一一
十年		一五六、五九七	一六二、一二四	一六七、六一七	一七二、九二二	一七八、二四一

備考 本表ハ預ケ入レノ翌月ヨリ利息ヲ付スルノ計算ナリ

四、日歩年利對照表

日 步	年 利	日 步	年 利
一	〇・三六五	一	六・五七〇
二	〇・七三〇	二	六・九三五
三	一・〇九五	三	七・三〇〇
四	一・四六〇	四	七・六六五
五	一・八二五	五	八・〇三〇
六	二・一九〇	六	八・三九五
七	二・五五五	七	八・七六〇
八	三・二八五	八	九・一二五
九	三・六五〇	九	九・四九〇
一〇	四・〇一五	一〇	九・八五五
一一	四・三八〇	一一	一〇・二二〇
一二	四・七四五	一二	一〇・五八五
一三	五・一一〇	一三	一〇・九五〇
一四	五・四七五	一四	一一・三一五
一五	五・八四〇	一五	一一・六八〇
一六	六・二〇五	一六	一二・〇四五
一七		一七	一二・四一〇



三五  
三六  
三七  
三八  
三九  
四〇  
四一  
四二

一二·七七五  
一三·一四〇  
一三·五〇五  
一三·八七〇  
一四·二三五  
一四·六〇〇  
一四·九六五  
一五·三三〇

四三  
四四  
四五  
四六  
四七  
四八  
四九  
五〇

二九二  
一五·六九五  
一六·〇六〇  
一六·四二五  
一六·七九〇  
一七·一五五  
一七·五二〇  
一七·八八五  
一八·二五〇

五、年利日步對照表

年利  
〇·二五  
〇·五〇  
〇·七五  
一·〇〇  
一·二五  
一·五〇  
一·七五

日步  
〇·六八五  
一·三七〇  
二·〇五五  
二·七四〇  
三·四二五  
四·一一〇  
四·七九五

年利  
二·〇〇  
二·二五  
二·五〇  
二·七五  
三·〇〇  
三·二五  
三·五〇

日步  
五·四七九  
六·一六四  
六·八四九  
七·五三四  
八·二一九  
八·九〇四  
九·五八九

三七五  
四〇〇  
四二五  
四五〇  
四七五  
五〇〇  
五二五  
五五〇  
五七五  
六〇〇  
六二五  
六五〇  
六七五  
七〇〇  
七二五  
七五〇  
七八〇  
八〇〇  
八二五  
八五〇  
九〇〇  
九二五  
一〇〇〇  
一〇五〇  
一〇〇〇

一〇·二七四  
一〇·九五九  
一一·六四四  
一二·三二九  
一三·〇一四  
一三·六九九  
一四·三七八  
一五·〇六八  
一五·七四八  
一六·四二八  
一七·一〇八  
一七·七八八  
一八·四六八  
一九·一四八  
二〇·五三三  
二一·二一八  
二二·九〇三  
二三·五八八  
二四·二七三  
二五·九五八  
二六·六四三  
二七·三二八  
二八·〇一三  
二八·七〇三  
三〇·一三七

一一·五〇  
一二·〇〇  
一二·五〇  
一三·〇〇  
一三·五〇  
一四·〇〇  
一四·五〇  
一五·〇〇  
一五·五〇  
一六·〇〇  
一六·五〇  
一七·〇〇  
一七·五〇  
一八·〇〇  
一八·五〇  
一九·〇〇  
一九·五〇  
二〇·〇〇

三一·五〇七  
三二·八七七  
三四·二四七  
三五·六一六  
三六·九八六  
三八·三五六  
三九·七二六  
四一·〇九六  
四二·四六六  
四三·八三六  
四五·二〇五  
四六·五七五  
四七·九四五  
四九·三一五  
五〇·六八五  
五二·〇五五  
五三·四二五  
五四·七九五



### 資金仲介ニ關スル規定

#### 一、産業組合中央會資金仲介規定

第一條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ日本勸業銀行ヨリ資金ヲ借入ル、場合ニハ本會ハ本規定ニ依リ仲介ノ取扱ヲ爲スモノトス

第二條 本會ニ於テ資金仲介ノ取扱ヲ爲スヘキモノハ聯合會又ハ三事業年度ヲ經過シタル組合トス但シ組合員ノ信用其ノ他ノ事由ニ依リ基礎鞏固ナリト認めタル組合ハ此限リニ在ラス

第三條 組合又ハ聯合會カ資金ノ借入ヲ爲サムトスルトキハ借入申込書ニ定款、財産目録、貸借對照表、事業報告書ヲ添ヘ支會經ヲテ本會ニ差出スヘシ支會ノ設立ナキ地方ニ於テハ直ニ本會ニ差出スヘシ

第四條 支會ニ於テ前條第一項ノ書類ヲ受ケタルトキハ組合又ハ聯合會ノ最近ノ事實ニ付少クトモ左ノ事項ヲ調査スヘシ

- 一、經過セル事業年度
- 二、組合員又ハ所屬組合數
- 三、組織ノ種類及保證責任ノ場合ニハ保證金總額  
無限責任ノ場合ニハ組合員ノ資産見込總額
- 四、財産目録及貸借對照表
- 五、少クトモ過去三箇年間ニ於ケル事業狀況資金集散ノ狀況及損益計算

六、從前ノ借入金額及償還ノ正否

七、事務ノ整理

八、理事監事ノ信用及組合員全体ノ徳風

九、借入レムトスル資金ノ運用及償還ニ關スル方法及其ノ適否

前項第九號ニ付テハ左ノ事項ヲ調査シ決定スヘシ

一、資金ノ用途事業ノ計劃及損益ノ豫算

二、舊債借換ノ場合ニ在リテハ舊債ノ性質、債權者別ノ金額、利率擔保ノ種類及償還ノ方法

第五條 支會ハ前條ノ調査ヲ爲ス場合ニ於テハ組合又ハ聯合會ニ付其ノ都度實地調査ヲ行フヘシ但シ常時調査ヲナシ適當ノ材料備ハレルモノアルトキハ之ヲ以テ實地調査ニ代フルコトヲ得

第六條 資金ノ貸付ニ付テハ無限責任組合又ハ聯合會ニ對シテハ特別ノ事情アル場合ノ外保證人又ハ擔保ヲ要セス有限責任組合保證責任組合ニ對シテハ役員又ハ資産信用確實ナル組合員ニ於テ個人ノ資格ニ依リ債務ヲ保證スルコトヲ要ス但シ組合カ擔保ヲ提供シタル場合若クハ特ニ資産豊富ナル場合ニハ貸付金額ノ多少及年限ノ長短ニ依リ保證人ヲ要セス

第七條 支會カ第四條ノ調査ヲ終リタルトキハ左ノ標準ニ依リ借入金額ヲ査定スヘシ

- 一、有限責任組合又ハ有限責任聯合會ニ在リテハ拂込済出資總額及積立金ノ合計額ノ範圍内
- 二、保證責任組合又ハ保證責任聯合會ニ在リテハ拂込済出資額及積立金ノ和ヲ基礎トシ組合ノ狀態ニ應シ該金額ノ一倍半ヲ以テ最高限度トスル範圍内但シ其ノ限度ハ拂込済出資額及積立金ノ和ト保證金總額ノ半額トノ合



計額ヲ超ユルコトヲ得ス

三、無限責任組合ニ在リテハ拂込済出資額及積立金ノ合計額ヲ基礎トシ組合ノ状態ニ應ジ該金額ノ三倍ヲ以テ最高限度トスル範圍内

四、組合又ハ聯合會ニ於テ現ニ借入金アルトキハ前各號ノ金額ヨリ之ヲ減ス但シ借入レムトスル資金カ組合ノ舊債借換テ目的トスルトキハ其ノ金額ニ付テハ之ヲ減スルヲ要セス

前項ノ査定金額ハ個人保證若クハ擔保ヲ提供シタルトキハ其ノ保證又ハ擔保ノ狀況ニ鑑ミ相當増額ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

第八條 支會ハ第四條第六條及第七條ノ調査ヲ終リタルトキハ産業組合信用調査書ヲ作製シ意見ヲ附シテ第三條ノ書類ト共ニ之ヲ本會ニ送付スヘシ

第九條 本會カ日本勸業銀行ノ協議ニ係ル借入申込書類ヲ支會ニ送付シタルトキハ支會ハ第四條乃至第七條ノ規定ニ準シ意見ヲ付シテ之ヲ本會ニ回付スヘシ

第十條 本會ハ支會又ハ支會ノ設立ナキ地方ノ組合又ハ聯合會ヨリ借入申込書類ヲ受ケタルトキハ第四條乃至第七條ノ規定ニ依リ之ヲ調査シ意見ヲ付シテ日本勸業銀行ニ送付スルモノトス

第十一條 日本勸業銀行ヨリ貸付ノ報告ヲ受ケタルトキハ本會ハ之ヲ支會ニ通知スルモノトス謝絶ノ報告ヲ受ケタルトキ亦同シ

第十二條 貸付ノ通知ヲ受ケタル組合又ハ聯合會ハ日本勸業銀行ト貸借契約ヲ締結シ手續完了ノ上全行ヨリ借入金ヲ受領スヘシ

第十三條 借入ヲ爲シタル組合又ハ聯合會ハ貸付年限中毎年通常總會ニ於テ承認シタル事業報告書ニ財産目錄、貸借對照表ヲ遲滞ナク日本勸業銀行及支會ニ差出スヘシ

支會ナキ地方ニ於テハ直接本會ニ差出スヘシ

第十四條 支會ハ資金借入ヲシタル組合又ハ聯合會ニ對シ特ニ指導督勵ヲ加ヘ時々監督ヲ爲シ事業ノ蹉跌ナキコトヲ期スヘシ

第十五條 借入申込書及貸借契約書ノ様式左ノ如シ

借 入 申 込 書

一金

一借入ヲ要スル時期

一借入金ノ用途

一返 濟 期

一元利ノ支拂期

一本年度借入金最高限度並届出年月日

右貸付取計相成度此段申込候也

大正 年 月 日

日本勸業銀行御中



年賦償還金員貸借契約證書

第一條 債務者ハ金何圓ヲ大正何年何月何日ヨリ同何年何月何日マテ借受ケ債權者ハ之ヲ貸渡シタリ

第二條 債權者ハ前條ノ元金ヲ大正何年何月何日ヨリ同何年何月何日マテ据置クコトヲ承諾シ債務者ハ大正何年何月何日ヨリ同何年何月何日マテニ借受金元利ヲ年賦償還スヘシ

第三條 本債務ノ利息ハ据置期間中年何分何年賦償還期間中年何分トシ此割合ヲ以テ算出シタル年賦金ハ金トス

第四條 債務者ハ据置期間中ノ利息ニシテ毎年何月何日ヨリ何月何日マテノ分ヲ何月何日マテニ何月何日ヨリ何月何日マテノ分ヲ何月何日マテニ株式會社日本勸業銀行本店又ハ指定銀行ニ拂込ムヘシ

第五條 債務者ハ毎年年賦金ヲ貳分シ左ノ通り株式會社日本勸業銀行本店又ハ指定銀行ニ拂込ムヘシ  
一金  
ハ毎年何月何日迄  
一金  
ハ毎年何月何日迄

第六條 債務者ハ其借受金ノ一部若クハ全部ヲ期限前ニ償還セムトスルトキハ拂戻高ノ百分ノ壹ノ手数料ヲ支拂フヘシ

第七條 債務者ハ左ノ場合ニ於テハ債權者ノ要求ニ從ヒ元利金ノ一部若クハ全部ヲ即時辨済スヘシ

- 一、第三者ヨリ差押、假差押若クハ競賣ノ申立アリタルトキ
- 一、債權者ニ於テ其債權ヲ侵害セラルヘキ行爲アリト認メタルトキ
- 一、本契約ヲ履行セサルトキ若クハ履行スル能ハサルトキ

一、借受金ヲ組合ノ目的以外ニ使用シタルトキ

一、法令ニ依リ期限ノ利益ヲ失フトキ

第八條 債務者ハ辨済期日又ハ期限前償還ヲ要求セラレタル場合ニ於テ債權者ノ指定シタル期日ニ元利金ノ拂込ヲ爲ササルトキハ其期日ノ翌日ヨリ現入金ノ日マテ拂込ムヘキ金額ニ對シ百圓ニ付壹日金參錢ノ割合ニ當ル遅延利息ヲ支拂フヘシ

第九條 債務者ハ左記各事項ヲ履行ス可シ

- 一、組合ニ於テ定款ノ變更ヲ決議シタルトキハ遲滞ナク之ヲ債權者ニ通知スルコト
- 二、左記事項ノ決議ニ關シテハ認可申請前債權者ノ承認ヲ受ク可キコト
  - イ、法令ノ規定ニヨリ債權者ノ承諾ヲ求ム可キ事項
  - ロ、組合ノ目的變更
  - ハ、剩餘金處分及損失ノ分擔、組合ノ目的タル事業ノ執行組合ノ存立時期又ハ解散ノ事由若クハ脱退及持分ノ拂戻ニ關スル定款ノ規定ノ變更
- 三、債權者ニ於テ組合ノ事業及資産負債ノ狀況ヲ調査セムトシ又ハ報告ヲ求ムルトキハ之ニ應スルコト

第十條 債務者ハ本契約ニ違反シタルトキハ直ニ強制執行ヲ受クルモ異議ヲ申出テサルヘシ

第十一條 及 ハ連帶シテ本債務ヲ保證ス

第十二條 保証人ハ債務者ニ於テ債務ノ履行ヲ爲ササルトキハ民法第四百五十二條第四百五十三條ノ權利ヲ主張セス直チニ其債務ヲ辨済スヘシ



第十三條 保証人ハ前條ノ債務ヲ履行セサルハ直ニ強制執行ヲ受クルモ異議ヲ申出テサルヘシ

定期償還金貸付契約證書

第一條 債務者ハ大正何年何月何日金何圓ヲ年利ノ割ヲ以テ借受ケ債權者ハ之ヲ貸渡シタリ

第二條 債務者ハ前條ノ利息ニシテ毎年何月何日ヨリ何月何日マテノ分ヲ何月何日マテニ何月何日ヨリ何月何日マテノ分ヲ何月何日マテニ株式會社日本勸業銀行本店又ハ指定銀行ニ拂込ムヘシ

第三條 債務者ハ借受金ノ全部ヲ大正何年何月何日株式會社日本勸業銀行本店又ハ指定銀行ニ拂込ムヘシ

(分割拂込ノ場合)

第三條 債務者ハ借受金ヲ左ノ通り分割シテ株式會社日本勸業銀行本店又ハ指定銀行ニ拂込ムヘシ

一金 大正 年 月 日

一金 大正 年 月 日

前項最後ノ拂込ノ場合ニ於テハ第二條ノ拂込期日ニ係ハラズ元金ト共ニ利息ノ拂込ヲ爲スヘシ

第四條 債務者ハ左ノ場合ニ於テハ債權者ノ要求ニ從ヒ元金ノ一部若クハ全部ヲ即時辨済スヘシ

一、第三者ヨリ差押假差押若クハ競賣ノ申立アリタルトキ

一、債權者ニ於テ其債權ヲ侵害セラルヘキ行爲アリト認メタルトキ

一、本契約ヲ履セサルトキ若クハ履行スル能ハサルトキ

一、貸付金ヲ組合ノ目的以外ニ使用シタルトキ

一、法令ニ依リ期限ノ利益ヲ失フトキ

第五條

債務者ハ元金利息ノ拂込期日又ハ期限前償還ヲ要求セラレタル場合ニ於テ債權者ノ指定シタル期日ニ元金ノ拂込ヲ爲ササルトキハ其期日ノ翌日ヨリ現入金ノ日マテ拂込ムヘキ金額ニ對シ百圓ニ付一日金參錢ノ割ニ當ル遅延利息ヲ支拂フヘシ

第六條

債務者ハ左記各事項ヲ履行ス可シ

一、組合ニ於テ定款ノ變更ヲ決議シタルトキハ遲滞ナク之ヲ債權者ニ通知スルコト

二、左記事項ノ決議ニ關シテハ認可申請前債權者ノ承認ヲ受ク可キコト

イ、法令ノ規定ニヨリ債權者ノ承認ヲ求ム可キ事項

ロ、組合ノ目的變更

ハ、剩餘金處分及損失ノ分擔組合ノ目的タル事業ノ執行組合ノ存立時期又ハ解散ノ事由若クハ脱退及持

分ノ拂戻ニ關スル定款ノ規定ノ變更

三、債權者ニ於テ組合ノ事業及資産負債ノ狀況ヲ調査セムトシ又ハ報告ヲ求ムルトキハ之ニ應スルコト

第七條

債務者ハ本契約ニ違反シタルトキハ直ニ強制執行ヲ受クルモ異議ヲ申出テサルヘシ

第八條

及 ハ連帶シテ本債務ヲ保證ス

第九條

保証人ハ債務者ニ於テ債務ノ履行ヲ爲ササルトキハ民法第四百五十二條第四百五十三條ノ權利ヲ主張

セス直ニ其債務ヲ辨済スヘシ

第十條

保証人ハ前條ノ債務ヲ履行セサルハ直ニ強制執行ヲ受クルモ異議ヲ申出テサルヘシ



一、日本勸業銀行 産業組合特別定期貸付規定

第一條 本貸付ハ基本契約ヲ以テ一定ノ期間内ニ於ケル貸付金最高限度ヲ定メ其ノ限度内ニ於テ資金所要ノ都度個々ノ貸付ヲナスモノトス

前項個々ノ貸付ハ金圓受領證並ニ期限通知書ヲ提出セシメ金圓ノ授受ヲナスモノトス

第二條 本貸付ハ左記ノ條件ヲ具備スルモノニ限り適用スルモノトス第二號ノ制限ハ聯合會ノ場合ニハ之ヲ適用セズ

一、組合ノ資産信用確實ナリト認メタルモノ

二、組合設立後三事業年度ヲ経過シタルモノ

三、借入金ノ用途流通資金トシテ短期ニ回收ノ見込アルモノ

第三條 本規定ニヨル貸付金最高限度ハ組合ノ短期資金必要額ヲ標準トシ資金仲介規定第七條ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

第四條 本貸付ハ基本契約締結前豫メ組合ノ實況ヲ調査シ貸付金最高限度ヲ以テ決定スルモノトス但シ第二條ノ規定ニ適合スル組合ニシテ左記條件ノ一ニ該當シ期限内ニ回收ノ見込確實ナル場合ニハ實查ヲ省略スルコトヲ得

一、組合ノ取引希望金額カ純資産（拂込済出資金及準備積立金ノ合計額ヨリ借入金並ニ損失ト認ムルモノヲ控除セルモノ）ノ五割以内ナルトキ

二、既ニ實查ノ上貸付ヲナシ現ニ貸付中ナルカ又ハ全部償還後一ケ年以内ニシテ第二條第一號ノ事項調査ノ上資

産信用引續キ確實ト認メラレ且償還成績良好ナル組合ナルトキ前項但書ノ場合ニ於テハ當分ノ内組合ニ對シ金五千圓以内聯合會ニ對シ金壹萬五千圓以内ニテ其限度ヲ定ムルモノトス

第五條 基本契約ハ私署證書ヲ以テ締結シ其期限ヲ二ケ年トシ理事監事ノ個人保證ヲ徵スルモノトス

第六條 基本契約ハ取引成績良好ニシテ組合ノ狀態引續キ確實ト認メラル、時ハ之ヲ繼續シ其成績良好ナラサルカ又ハ其狀態取引ニ適セスト認メラル、時ハ期限内ト雖モ之ヲ解除スルモノトス

第七條 本規定ニヨリ取引ヲナス組合ニ對シテハ毎年事業報告書、財産目錄並ニ毎月貸借對照表ヲ提出セシメ又ハ特別ノ報告ヲ徵シ其狀態ヲ明ニスルモノトス但シ貸借對照表並ニ特別ノ報告中資金ノ運轉及回收ニ關スルモノ、

様式ハ別ニ定ムル所ニヨリ事業報告書及財産目錄ハ農商務省所定ノ様式ニ依ルモノトス

第八條 本貸付ニ適用スヘキ基本契約證書金圓受領證並ニ期限通知書ハ別紙様式ニ依ルモノトス

第九條 本貸付ノ利率ハ當該期ノ貸付利率以内ニ於テ日歩計算ニヨリ定ムルモノトス

第十條 前各條ノ規定ハ産業組合聯合會ニ之ヲ準用スルモノトス

産業組合中央會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及聯絡ヲ圖ルヲ以テ目的トス



第二條 本會ハ産業組合中央會ト稱ス

第三條 本會ハ主タル事務所ヲ東京市牛込區楊場町二十一番地ノ二號ニ置ク

第二章 會員

第四條 本會ノ會員ハ正會員及贊助會員ノ二種トス

正會員ハ産業組合及産業組合聯合會トス

贊助會員ハ本會ノ趣旨ヲ賛成シテ入會シタルモノトス

第五條 本會ノ會員タラムトスル者ハ會費ヲ添ヘ其ノ旨事務所ニ申込ムヘシ

第六條 會員ノ會費年額左ノ如シ

聯合會 六圓

正會員 一圓四十錢

贊助 會員 一圓八十錢

會員ハ少クトモ一箇年分ノ會費ヲ前納スルモノトス但別ニ定ムル所ニ依リ分納スルヲ妨ケス

贊助會員ハ一時金十八圓ヲ納メタルトキハ爾後ノ會費ヲ納ムルコトヲ要セス

第七條 會員ハ左ノ事由ニ因リ脱退ス

一、解 散

二、死 亡

三、除 名

前項第一號ノ場合ニ於テハ清算人、第二號ノ場合ニ於テハ相續人ヨリ其ノ旨届出ツヘシ

第八條 會員脱退セムトスルトキハ其ノ事由ヲ記シ三箇月前ニ其ノ旨届出ツヘシ

第九條 會員ニシテ本會ノ目的ニ反スル行爲アルトキ又ハ會費ヲ滞納シタルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス但

臨機急施ヲ要スル場合ニハ參事ニ諮リ理事之ヲ專行シ次期ノ總會ニ報告スヘシ

第十條 前三條ノ場合ニ於テモ既納ノ會費ハ之ヲ返付セス

第十一條 本會ハ理事會ノ決議ヲ經テ學識名望アル者又ハ本會ニ對シ功勞アル者ヲ名譽會員ニ推薦スルコトヲ得

第三章 資 産

第十二條 本會ノ資産ハ左ノ收入ヨリ成ル

一、會員ノ會費

二、有志家又ハ會員ノ寄附又ハ遺贈ニ係ル金錢及物品

三、本會ノ事業又ハ所有財産ヨリ生スル收入

四、國又ハ公共團體等ノ補助金又ハ交付金

五、其ノ他ノ雜收入

第十三條 本會ニ基本財産ヲ置ク

基本財産ノ積立及管理ノ方法ハ總會ノ承認ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

基本財産ハ總會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第十四條 本會カ寄附金ヲ受ケタルトキハ用途ヲ指定シアルモノ、外之ヲ基本財産ニ組入ル、モノトス



第十五條 本會解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ノ處分ハ總會ニ於テ之ヲ決スヘシ

第四章 役員

第十六條 本會ニ理事九名、監事三名ヲ置ク

理事ハ會頭一名、副會頭二名ヲ互選ス

第十七條 會頭ハ本會ヲ總理ス副會頭ハ會頭ヲ補佐シ會頭事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十八條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但再選ヲ妨ケス

補缺選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ後任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十九條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限リ

臨時總會ニ於テ補缺選舉ヲ行フヘシ

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補缺選舉ヲ行フヘシ

第二十條 理事及監事ハ名譽譽トス但總會ノ決議ニ依リ理事ノ一部ヲ有給ト爲スコトヲ得

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十一條 本會ニ參事十五名以内ヲ置ク

參事ハ會員中ヨリ理事會ノ決議ヲ經テ會頭之ヲ囑託シ其ノ任期ハ一箇年トス

參事ハ重要ナル會務ニ參與ス

第二十二條 本會ニ主事、主事補及書記若干名ヲ置キ理事之ヲ選任ス但主事ハ理事ト相兼ヌルコトヲ得

主事及主事補ハ理事ノ指揮ヲ承ケテ會務ヲ處理シ書記ハ主事及主事補ノ命ヲ承ケテ庶務ニ従事ス

第二十三條 參事、主事及主事補ハ名譽職トシ書記ハ有給トス但主事及主事補ニハ手當ヲ給スルコトアルヘシ

第二十四條 本會ニ講師若干名ヲ置キ會頭之ヲ囑託ス

講師ハ名譽職トシ會頭ノ依頼ヲ承ケテ調査指導ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十五條 本會ニ顧問若干名ヲ置キ理事會ノ決議ヲ經テ會員中ヨリ會頭之ヲ囑託シ其ノ任期ハ一箇年トス

顧問ハ本會ノ事業ヲ援助シ會頭ノ諮問アルトキハ之ニ對フルモノトス

第五章 會議

第二十六條 本會ノ總會ヲ組織スル代表者ハ其ノ選舉區域毎ニ議決權五百以内ニ付各一人ヲ選舉シ五百以上五百ヲ

加フル毎ニ一人ヲ加フ

前項ノ選舉ニ於テ多數ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者ト爲ス同數ノ場合ニハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 會員ノ議決權ハ聯合會ニ在リテハ五箇、組合ニ在リテハ二箇、贊助會員ニ在リテハ一箇トス

第二十八條 代表者ノ選舉ハ理事ノ指定シタル會員ニ於テ之ヲ管理シ別ニ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ行フ

管理者ハ選舉ノ狀況ヲ記録シ之ヲ理事ニ報告スヘシ

第二十九條 代表者ノ任期ハ二箇年トス但再選ヲ妨ケス

代表者ニ缺員ヲ生シタルトキハ遲滞ナク補缺選舉ヲ行フモノトス

第三十條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス



通常總會ハ毎年一回四月又ハ五月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一、理事カ必要ト認メタルトキ
- 二、監事カ産業組合法第九十二條ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三、代表者ノ五分ノ一又ハ總議決權五分ノ一以上ニ當ル會員ヨリ會議ノ目的及招集ノ事由ヲ示シテ請求シタルトキ

第三十一條 總會ノ招集ハ少クモ十日日前ニ書面ヲ以テ代表者ニ之ヲ通知スヘシ

前項ノ通知書ニハ會議ノ目的タル事項ヲ示シ招集者之ニ記名スヘシ

第三十二條 代表者ノ議決權ハ平等トス

第三十三條 總會ノ決議ハ出席シタル代表者ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス但理事及監事ノ選任、解任及定款ノ變更ノ決議ハ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十四條 總會ニ於テハ第三十一條第二項ニ依リ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノ決議ヲ爲スモノトス但出席代表者ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 本會ノ或代表者トノ關係ニ付決議ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ代表者ハ議決權ヲ有セス

第三十六條 總會ノ議長ハ會頭又ハ副會頭之ニ當ル會頭副會頭共ニ事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル

第三十七條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長、監事及代表者又ハ會員二名之ニ記名捺印スヘシ

第三十八條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十九條 解散ノ決議ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ總會ヲ招集ス

代表者ヲ以テ組織スル總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用ス但其ノ決議ハ議決權二分ノ一以上ニ當ル會員出席シ議決權ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

會員ハ他ノ會員ヲ代理人トシテ議決權ヲ行フコトヲ得

前項ノ代理人ハ二十人以上ヲ代理スルコトヲ得ス

第六章 事業

第四十條 本會ニ於テ行フ事業左ノ如シ

第一部

- 一、産業組合及産業組合聯合會ノ設立ヲ獎勵斡旋スルコト
- 二、組合及聯合會ニ關シ指導ヲ爲スコト
- 三、組合及聯合會ニ關シ表彰ヲ行フコト
- 四、組合及聯合會相互ノ聯絡ヲ圖リ事業執行上ノ便宜ヲ與フルコト
- 五、組合及聯合會ニ關スル講習講話等ヲ行フコト
- 六、組合及聯合會ニ關スル調査ヲ行フコト
- 七、會員ノ質問ニ應スルコト
- 八、會報ヲ發行スルコト
- 九、組合及聯合會ニ關スル書籍ヲ發行スルコト



十、前各號ノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項

第二部

一、肥料其ノ他理事ニ於テ定メタル物ヲ購買シテ之ヲ會員タル組合又ハ聯合會ニ賣却スルコト  
 二、生産品陳列所其ノ他理事ニ於テ定メタル物ヲ備ヘ之ヲ會員タル組合又ハ聯合會ニ使用セシムルコト  
 本會ハ官廳又ハ公共團體等ヨリ事業ノ囑託ヲ受ケタルトキハ理事ニ於テ之ヲ處理ス但次期ノ總會ニ報告スヘシ  
 第四十一條 前條第二部ノ事業執行方法ハ定款ニ規定アルモノ、外總會ノ承認ヲ經テ別ニ之ヲ定ム  
 第四十二條 理事ハ第二部ノ事業執行ニ關シテハ必要ニ應ジ之ニ關係アル組合及聯合會ノミノ特別會議ヲ招集シ意見ヲ徵スルコトヲ得  
 特別會議ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 支會

第四十三條 本會ハ事業執行上ノ便ヲ圖ル爲メ本定款ノ規定ニ依リ道府縣毎ニ支會ヲ設クルコトヲ得  
 第四十四條 支會ハ其ノ道府縣毎ニ議決權二分ノ一以上ニ當ル會員ノ同意アルニ非サレハ之ヲ設置セス  
 支會ノ設置區域内ニ於ケル會員ハ本定款ノ外支會々則ヲ遵守スヘシ  
 第四十五條 支會ヲ設置セムトスルトキハ會員中ヨリ發起人ヲ指定シ其ノ發起人ヲシテ會則ヲ定メ同意者名簿ヲ添ヘ本會ノ承認ヲ受ケシム  
 第四十六條 支會ハ産業組合中央會何々支會ト稱ス  
 第四十七條 支會ニハ左ノ役員ヲ置ク

一、會長

一名

二、副會長

一名又ハ二名

三、其ノ他支會々則ヲ以テ定ムル役員

會長及副會長ハ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第十七條ノ規定ハ會長及副會長ニ之ヲ準用ス

第四十八條 本會ハ何時ニテモ支會役員ノ改選ヲ命スルコトヲ得但次ノ總會ニ之ヲ報告スヘシ

第四十九條 支會ハ本會ヨリ交付スル經費ノ外會則ノ定ムル所ニヨリ特ニ其區域内ニ於ケル會員ヨリ會費ヲ徵收スルコトヲ得

第五十條 支會ハ毎年豫算ヲ作り本會ノ承認ヲ受クヘシ

支會ハ毎年會計年度終了後速ニ前年度ノ決算及會務ノ狀況ヲ本會ニ報告スヘシ

第五十一條 支會ハ本會ノ指揮ヲ拒ムコトヲ得ス

支會カ前項ノ規定ニ違背シタルトキハ本會ハ經費ノ交付ヲ停止シ又ハ支會ノ廢止ヲ行フコトヲ得

第八章 會計

第五十二條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第五十三條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一、會員名簿

二、出納簿



三、財産臺帳

四、其ノ他必要ナル帳簿

第五十四條 本會ノ豫算ハ參事ニ諮リ理事之ヲ定ム

第五十五條 會計ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第九章 附 則

第五十六條 本會ハ大日本産業組合中央會ノ一切ノ權利ノ讓受ニ關シ必要ナル契約ヲ締結スルコトヲ得

第五十七條 大日本産業組合中央會ノ支會ニシテ其ノ總會ノ決議ヲ經タル會則ヲ添ヘ本會ノ承認ヲ受ケタルトキハ

本定款第四十四條第一項及第四十五條ノ規定ニ依ラスシテ本會ノ支會ト爲スモノトス

第五十八條 大日本産業組合中央會ノ會費ヲ一時金ヲ以テ納付セシ者ニシテ本會々員タル者ハ第六條ノ會費ヲ納ム

ルコトヲ要セス

第五十九條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但第三回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事	平 田 東 助
理事	加 納 久 宜
理事	小 松 原 英 太 郎
理事	岡 田 良 平
理事	若 槻 禮 次 郎
理事	早 川 千 吉 郎
監事	法學博士 伊 藤 長 次 郎
監事	子爵 井 上 友 一
監事	法學博士 桑 田 熊 藏
監事	法學博士 志 村 源 太 郎

産業組合中央會表彰規程

第一條 本會ハ毎年一回成績良好ナル産業組合ニ對シ左記表彰ヲ行フ

一、中央會會頭ノ名ヲ以テ賞狀ヲ贈與スルコト

二、中央會會報ニ表彰ノ旨ヲ記シ其ノ成績ヲ掲クルコト

三、大會ノ節會衆ニ紹介シ其組合理事ヲシテ實驗談ヲ爲サシムルコト

第二條 表彰スヘキ組合ハ中央會々員ニシテ左記各號ニ該當スルモノニ限ル

一、法令及定款ニ違背ナキコト

二、帳簿書類其他事務上ノ整理行届キ居ルコト

三、組合員ハ區域内ノ者ヲ相當包含シ居リ減少ヲ見サルコト

四、事務ノ分量増加スルコト及其ノ事業ハ各組合員ニ行渡リ居ルコト

五、收入支出適良ニシテ相當ノ剩餘金アリ積立金増加スルコト



- 六、組合員ノ事業進歩シ産業ノ地方的改善行ハル、コト
- 七、組合員ノ富力増進スルコト
- 八、組合員ノ徳義上進スルコト
- 九、一般ニ共同施設ノ効果舉レルコト
- 一〇、比隣ニ對シ感化力ノ見ルヘキモノアルコト
- 一一、組合設立後五ヶ年以上ヲ経過シタルモノナルコト但シ組合法ニ據ラスシテ事業ヲ經營シ來リタル組合ニ就キテハ其ノ年數ヲ加算スルコトヲ得
- 第三條 組合成績ノ調査ハ支會アル府縣ニ在リテハ支會長ノ申告其ノ他ノ府縣ニ在リテハ地方長官ノ推選シタルモノニ付キ會頭ノ指名セル調査委員ニ於テ之ヲ行ヒ參事ニ諮リ理事之ヲ決スルモノトス
- 第四條 表彰セラレタル組合ニシテ其ノ成績一層良好トナリタルモノハ更ニ之ヲ表彰スルコトヲ得
- 第五條 表彰セラレタル組合ニ對シテハ其ノ事由ヲ登錄シ永遠ニ之ヲ保存スルモノトス
- 第六條 賞狀ヲ毀損シ又ハ紛失シタルトキハ請求ニ依リ再ヒ交付スルコトアルヘシ
- 第七條 表彰セラレタル組合ニシテ經營當チ失シ成績不良ニ陥リタル組合ニ對シテハ表彰ヲ無効トシ其旨會報ニ登載シ且第五條ノ簿冊中ヨリ之ヲ抹消ス
- 前項ノ場合ニ於ケル調査方法ハ第三條ノ例ニ依ル

附



- 六、組合員ノ事業進歩シ産業ノ地方的改善行ハル、コト
  - 七、組合員ノ富力増進スルコト
  - 八、組合員ノ徳義上進スルコト
  - 九、一般ニ共同施設ノ効果舉レルコト
  - 一〇、比隣ニ對シ感化力ノ見ルヘキモノアルコト
  - 一一、組合設立後五ヶ年以上ヲ經過シタルモノナルコト但シ組合法ニ據ラスシテ事業ヲ經營シ來リタル組合ニ就キテハ其ノ年數ヲ加算スルコトヲ得
- 第三條 組合成績ノ調査ハ支會アル府縣ニ在リテハ支會長ノ申告其ノ他ノ府縣ニ在リテハ地方長官ノ推選シタルモノニ付キ會頭ノ指名セル調査委員ニ於テ之ヲ行ヒ參事ニ諮リ理事之ヲ決スルモノトス
- 第四條 表彰セラレタル組合ニシテ其ノ成績一層良好トナリタルモノハ更ニ之ヲ表彰スルコトヲ得
- 第五條 表彰セラレタル組合ニ對シテハ其ノ事由ヲ登錄シ永遠ニ之ヲ保存スルモノトス
- 第六條 賞狀ヲ毀損シ又ハ紛失シタルトキハ請求ニ依リ再ヒ交付スルコトアルヘシ
- 第七條 表彰セラレタル組合ニシテ經營當ヲ失シ成績不良ニ陥リタル組合ニ對シテハ表彰ヲ無効トシ其旨會報ニ登載シ且第五條ノ簿冊中ヨリ之ヲ抹消ス
- 前項ノ場合ニ於ケル調査方法ハ第三條ノ例ニ依ル

附  
錄



# 附 録

登記事項又ハ組合原簿記載ニ關スル届書ノ例

出資第壹回拂込済届

一、登記ノ目的 産業組合設立登記

一、登記ノ事由 大正 年 月 日本組合設立御許可ノ處大正 年 月 日出資第壹回ノ拂込ヲ了シタルニ因ル

一、原簿記載事項

一、出資ノ總口數 何百何拾口

一、拂込ミタル出資ノ總額 何千何百何拾圓

一、添付書類ノ表示

一、定款正本 壹 通

但登記済ノ上ハ還付相成度候

一、同 謄 本 壹 通

一、組合原簿 貳 冊

右 及 御 届 候 也



大正 年 月 日

何郡市町村大字何々何番地

無限(有限、保證)責任何々組合

組合長理事 何

某印

知事 宛

前記ノ事項調査候處相違無之依テ證明候也

監事 何

某印

組織變更ニ依ル組合原簿提出届

一、登記ノ目的 組織變更登記

一、登記ノ事由 大正 年 月 日付定款變更認可書同年 月 日到達シタルニ因ル

一、原簿記載事項

一、出資ノ總口數 何百何拾何口

一、拂込ミタル出資ノ總額 何千何百何拾圓

一、添付書類ノ表示

一、總會決議錄 壹通

但登記濟ノ上ハ還付相成度候

一、同上謄(抄)本 壹通

一、催告書 壹通

但登記濟ノ上ハ還付相成度候

一、同上謄本 壹通

一、何々々 何通

一、組合原簿 貳通

右及御届候也

大正 年 月 日

何郡市町村大字何々何番地

何責任何々組合

組合長理事 何

某印

知事 宛

前記ノ事項調査候處相違無之依テ證明候也

監事 何

某印



理事變更届

一、登記ノ目的 理事變更登記

一、登記ノ事由 理事全員任期満了ニ付大正 年 月 日通常總會ニ於テ左記ノ者ヲ選任シ同年 月 日就任ヲ承諾シタルニ因ル

一、選任シタル理事ノ住所氏名

何郡何村大字何々何番地

何

某

同所大字何々何番地

何

某

同所大字何々何番地

何

某

一、添付書類ノ表示

一、決議録

壹通

但登記済ノ上ハ還付相成度候

一、同上贍(抄)本

壹通

右及御届候也

大正 年 月 日

知事宛

前記ノ事項調査候處相違無之依テ證明候也

何郡何村大字何々何番地

何々責任何々組合

組合長理事 何

某印

監事 何

某印

監事選任届

一、登記ノ目的 監事選任登記

一、登記ノ事由 監事任期満了ノ處大正 年 月 日通常總會ニ於テ前任者ヲ再選シタルニ因ル

一、添付書類ノ表示

一、決議録

壹通

但登記済ノ上ハ還付相成度候

一、同上贍(抄)本

壹通

右及御届候也

大正 年 月 日



知事宛

前記ノ事項調査候處相違無之依テ證明候也

監事何

某印

何郡何町村大字何々何番地  
何責任何々組合

組合長理事 何

某印

理事辭任届

一、登記ノ目的 理事變更登記

一、登記ノ事由 理事何某大正 年 月 日辭任シタルニ因ル

右及御届候也

大正 年 月 日

何郡何町村大字何々何番地

何責任何々組合

組合長理事 何

某印

知事宛

前記ノ事項調査候處相違無之依テ證明候也

監事何

某印

監事死亡届

一、登記ノ目的 監事變更登記

一、登記ノ事由 監事何某大正 年 月 日死亡同年 月 日届出アリタルニ因ル

右及御届候也

大正 年 月 日

何郡何村大字何々何番地

何責任何々組合

組合長理事 何

某印

知事宛

前記ノ事項調査候處相違無之依テ證明候也

監事何

某印



組合原簿記載變更届

一、登記ノ目的 組合原簿記載變更登記

一、登記ノ事由 大正 年 月 日 總組合員ノ同意ヲ得左記ノ者新ニ組合ニ加入シ同年 月

日出資第壹回ノ拂込ヲ了シタルニ因ル

一、加入シタル組合員ノ住所氏名

何郡何町村大字何々何番地何業

何 某

同所大字何々何番地何業

何 某

一、添付書類ノ表示

一、組合原簿 貳冊

一、同意書(催告書) 壹通

但登記済ノ上ハ還付相成度候

一、同意書(催告書)謄本 壹通

右及御届候也

大正 年 月 日

何郡何町村大字何々何番地

知事宛

前記ノ事項調査候處相違無之依テ證明候也

無限保證責任何々組合

組合長理事 何

某印

監事 何

某印

組合原簿記載變更届

一、登記ノ目的 組合原簿記載變更登記

一、登記ノ事由 大正六年壹月壹日ヨリ同年拾貳月參拾壹日ニ至ル間ニ於テ左記ノ通變更アリ

タルニ因ル

一、登記スヘキ事項

一、出資ノ總口數 變更前 何百何拾口

變更後 何百何拾口

一、拂込ミタル出資ノ總額 變更前 何百何拾圓

變更後 何千何百圓

右及御届候也



大正 年 月 日

何郡何町村大字何々何番地

何責任何々組合

組合長理事 何

某印

知事 宛

前記ノ事項調査候處相違無之依テ證明候也

監事 何

某印

組合原簿記載變更届

一、登記ノ目的 組合原簿記載變更登記

一、登記ノ事由 大正六年壹月壹日ヨリ同年拾貳月參拾壹日ニ至ル間ニ於テ左記ノ通變更アリ

タルニ因ル

一、登記スヘキ事項

冊數 丁數 變更 前 後 事 由

五 三 何村大字何々何番地 何 某 何村大字何々何番地 何 某 襲名シタルニ因ル

六 八 何村大字何々何番地 何 某 何村大字何々何番地 何 某 戸主異動ノ爲メ新戸籍編製ニ因ル

六 一五 何村大字何々何番地 何 某 何村大字何々何番地 何 某 住所ヲ變更シタルニ因ル  
八 三八 何村大字何々何番地 何 某 何村大字何々何番地 何 某 入夫婚姻シタルニ因ル

右及御届候也

大正 年 月 日

何郡何町村大字何々何番地

無限保證責任何々組合

組合長理事 何

某印

知事 宛

組合解散届

一、登記ノ目的 組合解散登記

一、登記ノ事由 明治參拾六年貳月拾五日本組合設立御許可ノ處大正六年拾貳月參拾壹日ヲ以

テ定款ノ規定ニ依ル組合ノ存立時期滿了シタルニ因ル

右及御届候也

大正 年 月 日



何郡何村大字何々何番地

何責任何々組合

組合長理事 何

某印

知事宛

前記ノ事項調査候處相違無之依テ證明候也

監事 何

某印

清算人變更届

一、登記ノ目的 清算人變更登記

一、登記ノ事由 清算人何某大正 年 月 日辭任シタルニ因ル

右及御届候也

何郡何町村大字何々何番地

何責任何々組合

清算人 何

某印

知事宛

清算人選任届

一、登記ノ目的 清算人變更登記

一、登記ノ事由 清算人壹名缺員ニ付大正 年 月 日總會ニ於テ左記ノ者ヲ選任シタルニ因ル

一、選任シタル清算人ノ住所氏名

何郡何村大字何々何番地

何

某

一、添付書類ノ表示

一、總會決議録

壹通

但登記済ノ上ハ還付相成度候

一、總會決議録謄本

壹通

右及御届候也

大正 年 月 日

何郡何村大字何々何番地

何責任何々組合

清算人 何

某印

知事宛



清算結了届

一、登記ノ目的 清算結了登記

一、登記ノ事由 本組合ノ清算結了シ大正 年 月 日總會ノ承認ヲ經タルニ因ル

一、添付書類ノ表示

一、決算報告書

壹通

一、總會決議録

壹通

但登記済ノ上ハ還付相成度候

一、總會決議録謄本

壹通

右及御届候也

大正 年 月 日

何郡何町村大字何々何番地

何責任何々組合

清算人 何

某印

知事宛

(注意)

一、右ハ數箇ノ例ヲ示シタルモノナルヲ以テ其ノ他ノ届出事項ヲ生シタルトキハ之ニ準據スヘシ

一、添付スヘキ謄本ニハ「右原本ニ依リ謄寫シ原本ト相違ナキコトヲ證ス」ル旨及年月日ヲ附記シ理事署名捺印シ且綴目ニ契印スヘシ



大正六年十二月三十日印刷  
大正七年一月四日發行



定價金壹圓六拾錢

著作兼發行者 森 健 彦  
鳥取縣鳥取市東町百六十九番地

印刷者 岡 村 豐 次 郎  
鳥取縣鳥取市西町百三十一番地

印刷所 岡 村 活 版 所  
鳥取縣鳥取市西町百三十一番地

電話三五九番  
振替口座大阪二八六二番

電話(長)二四三番  
振替口座大阪八二六五番

發賣所 鳥取縣廳前 平 木 書 店



366  
59



終